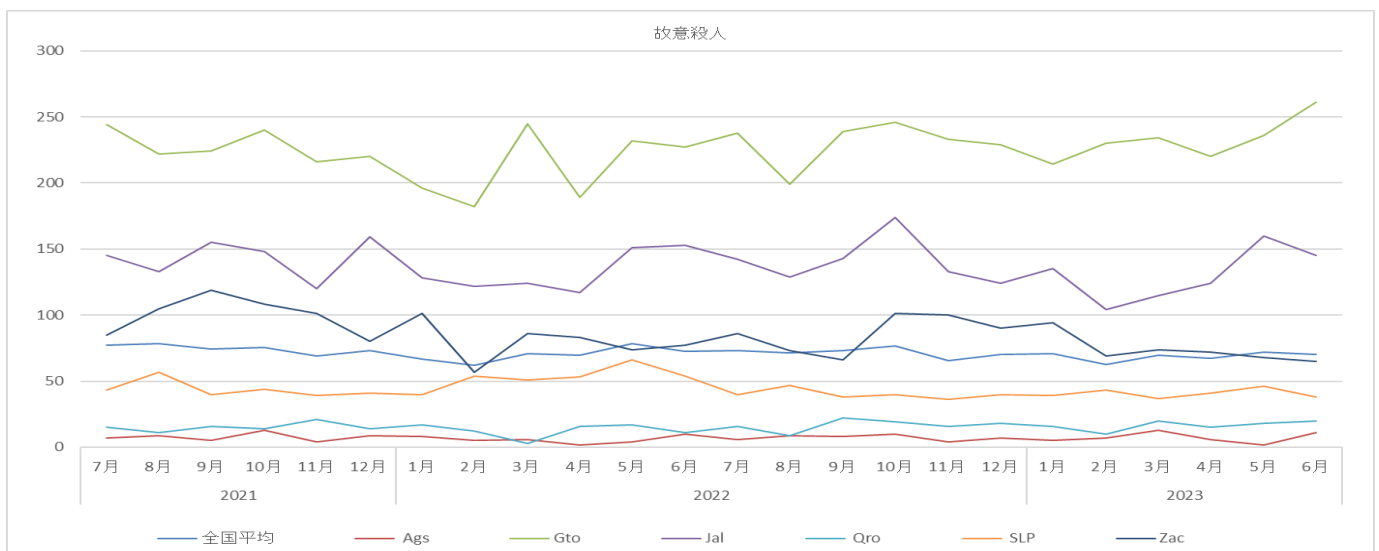
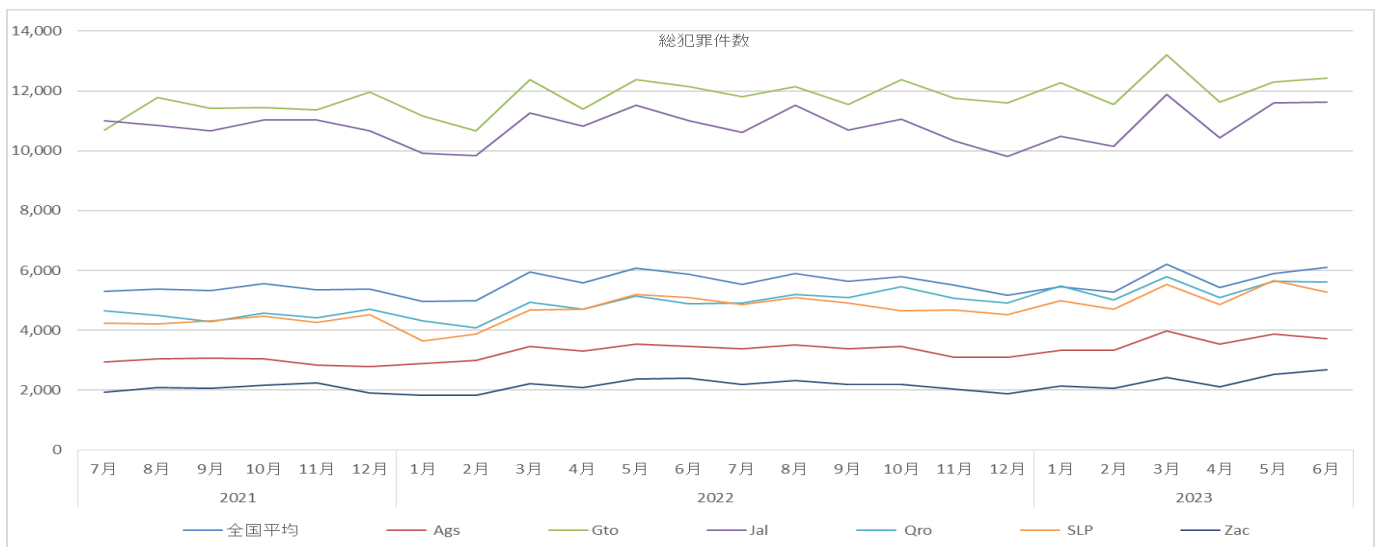
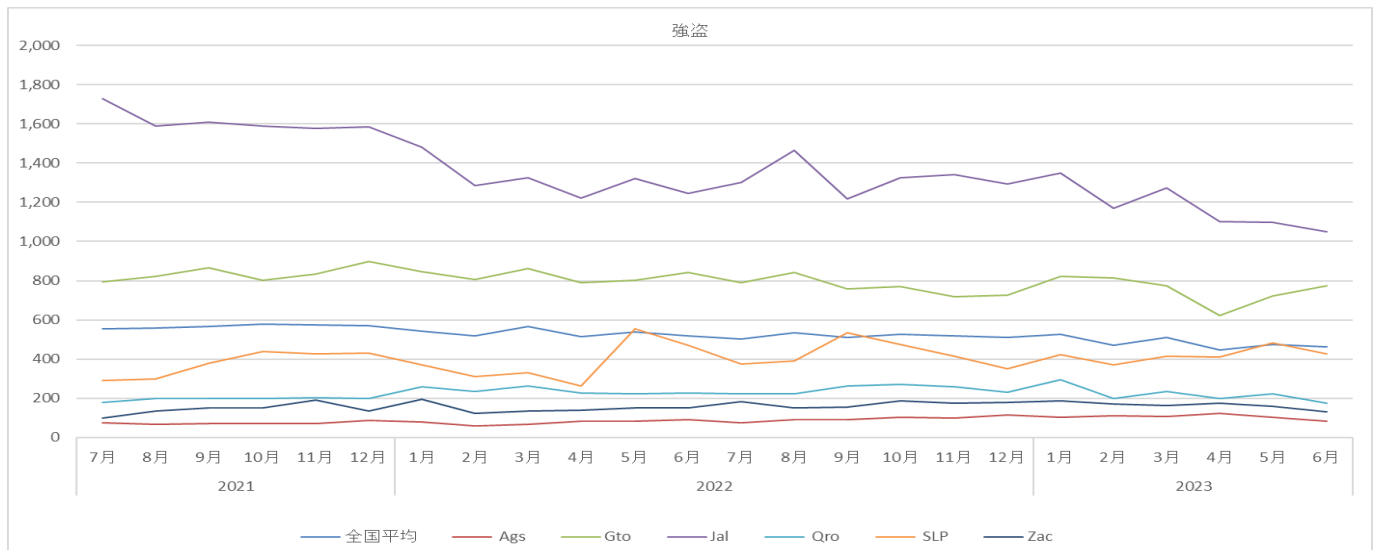


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースや最近では爆弾を使った犯行も見られるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件なども発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

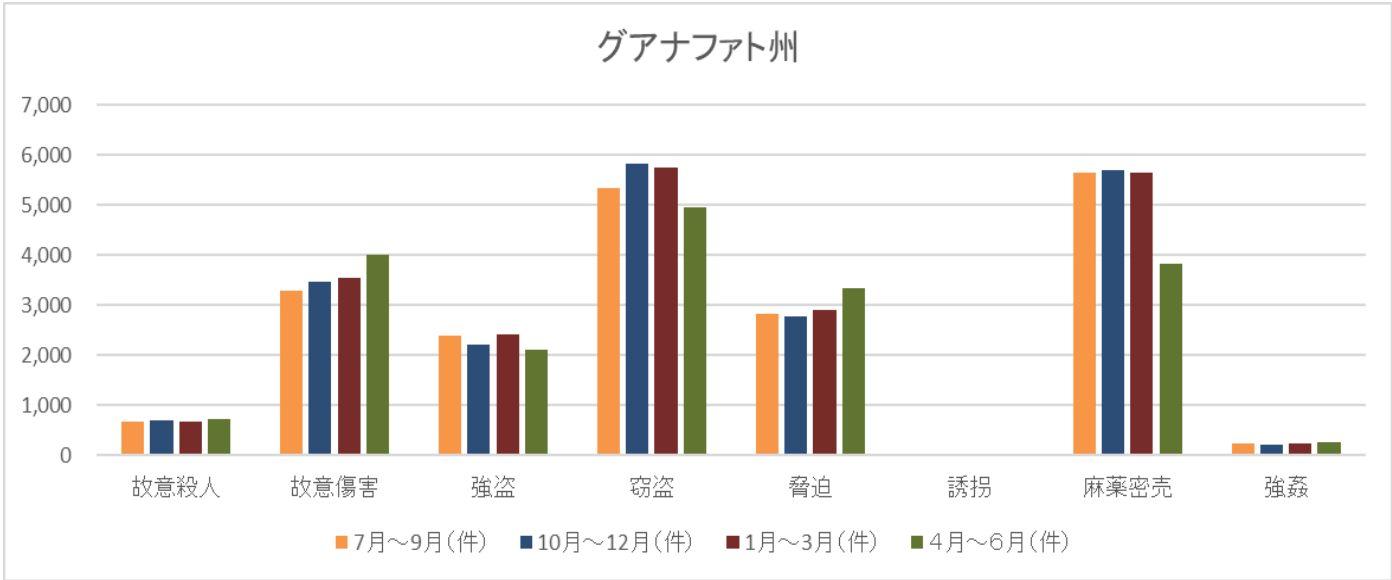
・人口約616万人 犯罪認知総数（4月～6月）36,351件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り再び増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗を同時に放火する事件が発生しており、抗争状態は継続すると考えられます。また、強盗被害も多く発生しており、都市間の移動においても時間帯など考慮して運行計画を立てる事をお勧め致します。

・邦人被害（4月～6月）2件（強盗被害1件、空き巣被害2件）

22時頃、高速道路でレオン市に向かっていたところ、何かを踏みつけタイヤがパンクしました。100m～200m走行したところで停車しましたが、路地の茂みから銃を持った犯人が出てきて貴重品を奪われる被害が発生しております。高速道路は一般道に比べて車幅も広く、一般的に治安当局の巡回頻度も高いため、都市間の移動には高速道路を推奨しております。しかしながら、強盗被害のリスクは0ではありませんので、時間帯なども考慮しつつ、万が一被害に遭ってしまった際も最小限の被害で済むような対策（財布とカードを分けておくなど）をして下さい。空き巣被害は、マンションタイプでも足場があれば容易に侵入が可能です。特に留守と分かるような情報発信（SNSなど）やスケジュールの共有は最小限として下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	676	708	678	717
故意傷害	3,287	3,471	3,558	3,996
強盗	2,390	2,218	2,407	2,122
窃盗	5,343	5,840	5,755	4,948
脅迫	2,817	2,767	2,894	3,350
誘拐	1	1	2	2
麻薬密売	5,644	5,701	5,658	3,834
強姦	240	220	230	264



(2) アグアスカリエンテス州

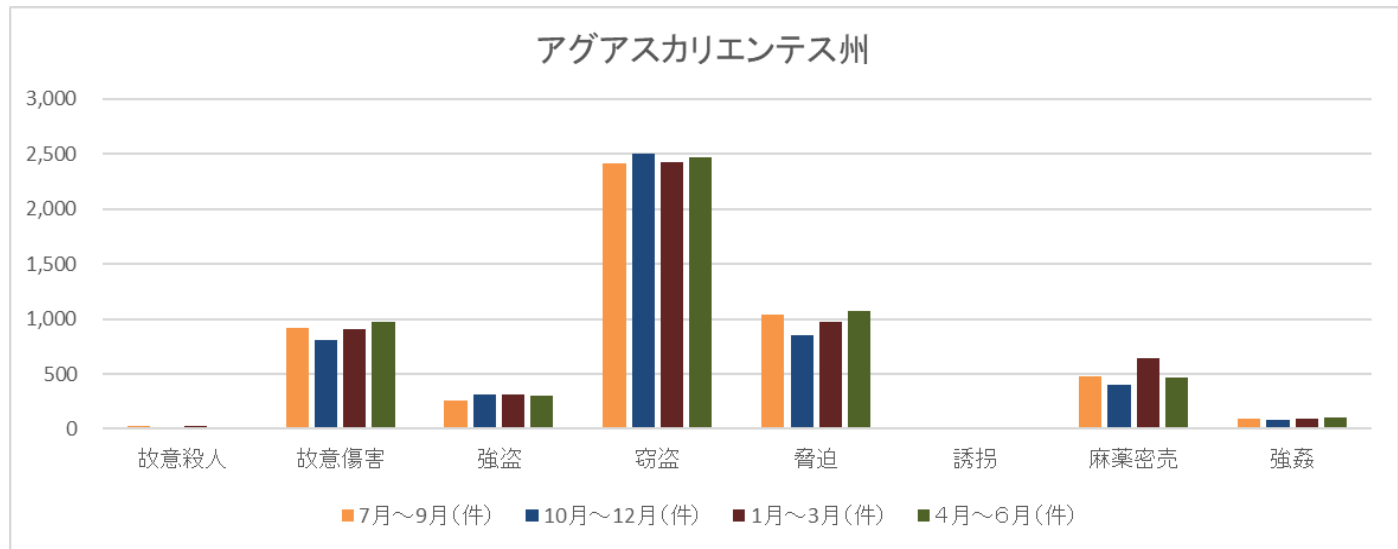
・人口約 1 4 2 万人 犯罪認知総数 (4 月～6 月) 1 1, 1 2 4 件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率 (人口の割合) では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

・邦人被害 (4 月～6 月) 0 件

4 月～6 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)
故意殺人	23	21	25	19
故意傷害	920	809	902	975
強盗	256	314	318	304
窃盗	2,418	2,505	2,421	2,467
脅迫	1,040	856	976	1,070
誘拐	1	1	0	0
麻薬密売	479	396	638	468
強姦	93	80	96	100



(3) ハリスコ州

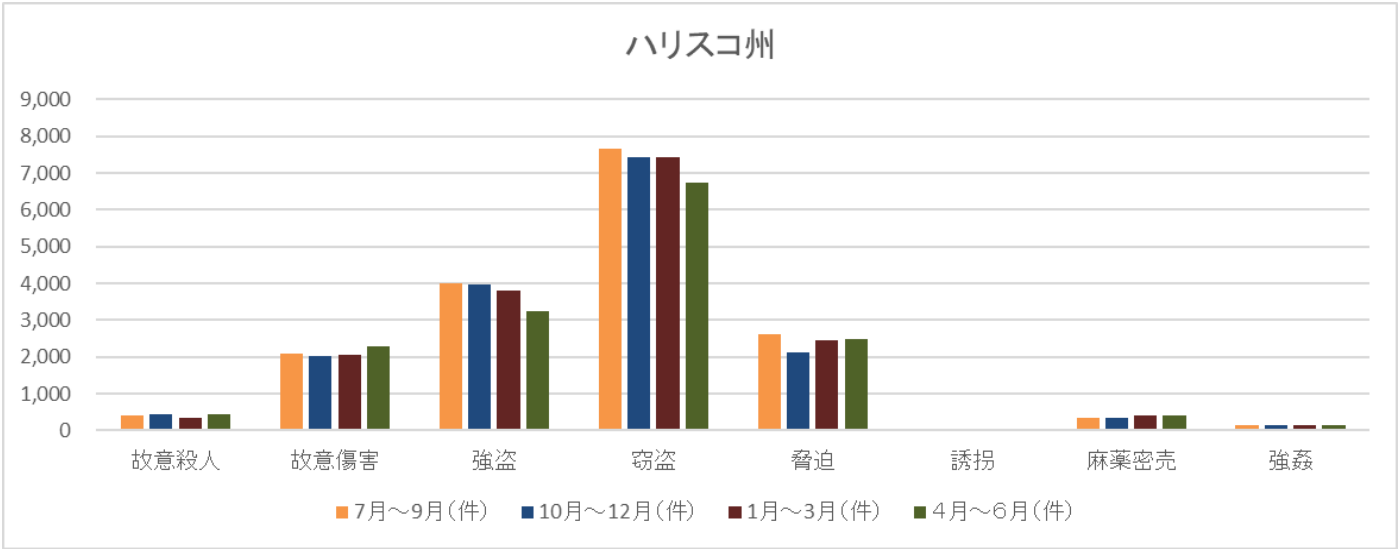
・人口約834万人 犯罪認知総数（4月～6月）33,648件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。グアダラハラ市はメキシコ第二の都市とも言われておりますが、人が多いところは犯罪も増える傾向があり、旅行者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害（4月～6月）1件（強盗被害）

17時頃、グアダラハラ市の歩道を歩いていたところ、前方から歩いてきた2人組に道を塞がれ、その直後、背後にいた2人組も加わり地下道のスロープへ連れて行かれそうになりました。被害者は、とっさに所持していたバックパックを置いて逃げる事ができました。大きなカバンのように、旅行者と分かるような格好はターゲットにされるリスクが高くなります。速やかにホテルに預けるか、移動される際は可能な限り徒歩は避けて下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	414	431	352	429
故意傷害	2,095	2,027	2,044	2,283
強盗	3,986	3,961	3,795	3,249
窃盗	7,675	7,412	7,415	6,729
脅迫	2,629	2,135	2,460	2,478
誘拐	5	3	3	3
麻薬密売	347	339	402	393
強姦	140	145	154	151



(3) ケレタロ州

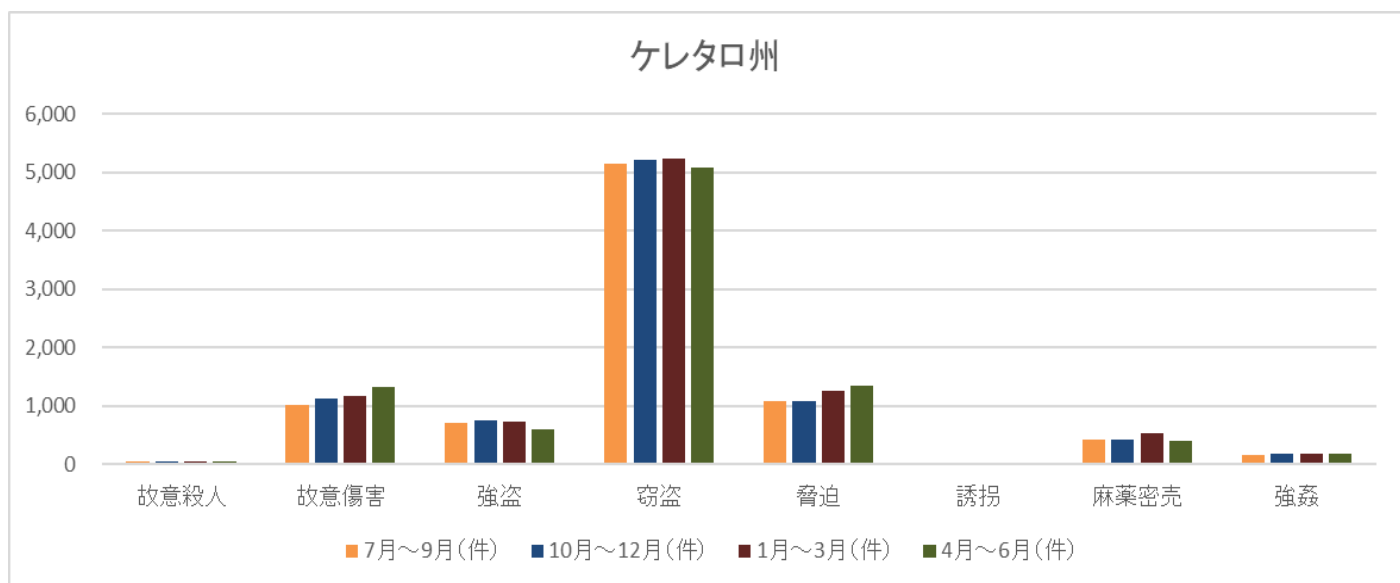
・人口約236万人 犯罪認知総数（4月～6月）16,332件

故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安も悪く、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害（4月～6月）0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	47	53	46	53
故意傷害	1,008	1,125	1,182	1,330
強盗	709	760	729	592
窃盗	5,157	5,213	5,235	5,075
脅迫	1,080	1,085	1,262	1,343
誘拐	1	4	2	0
麻薬密売	426	432	529	409
強姦	162	172	188	182



(5) サンルイスポトシ州

・人口約282万人 犯罪認知総数(4月～6月) 15,793件

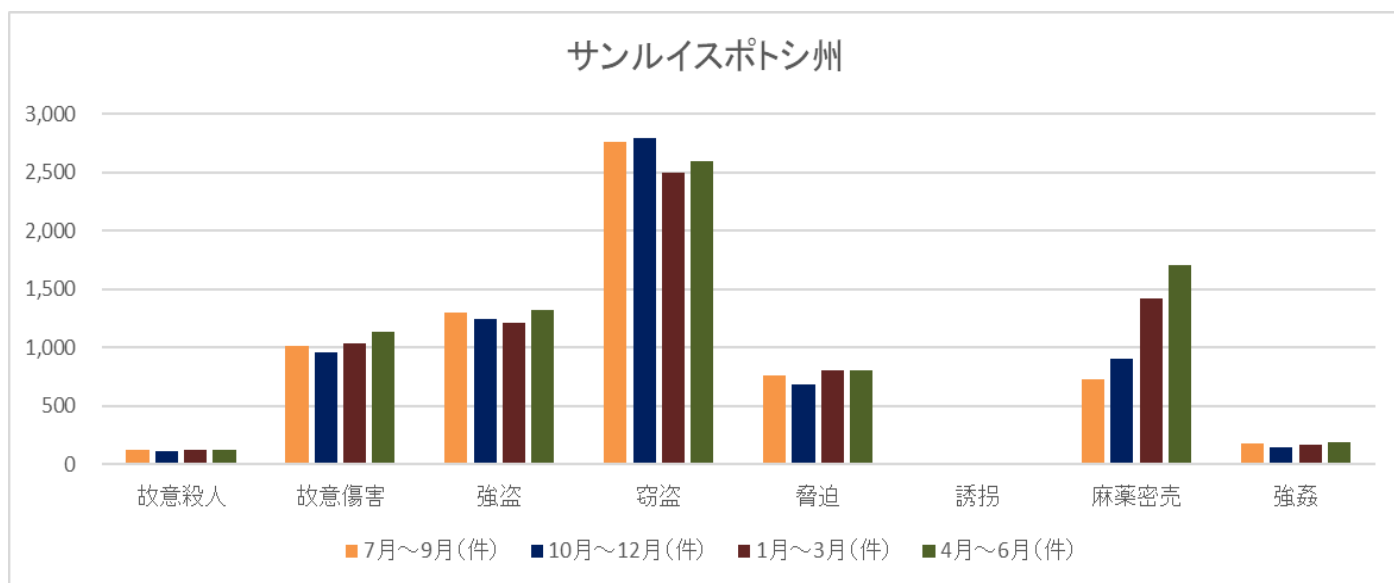
故意殺人の件数は年々増加傾向となっており、その発生率(人口の割合)も高くなっております。また、ここ1年程度で麻薬に関連する犯罪が顕著に増加しており治安悪化傾向となっております。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件也多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害(4月～6月) 1件

友人と食事のため、路上のコインパーキングに駐車し、外から見えないようにトランクに旅券の入ったリュックを保管していましたが、夜12時過ぎに車に戻ったところ、窓ガラスが割られ、リュックも盗難されていた被害が発生しています。車上狙いはどこでも発生する犯罪です。貴重品は車内に放置せず、必ず持ち歩いて下さい。また、駐車する場所も人の目を意識して駐車場所を選んでください。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	125	116	119	125
故意傷害	1,019	963	1,033	1,132
強盗	1,304	1,241	1,209	1,319
窃盗	2,760	2,797	2,497	2,602
脅迫	760	687	800	800
誘拐	2	2	1	4

麻薬密売	726	900	1,424	1,708
強姦	178	144	171	188



(6) サカテカス州

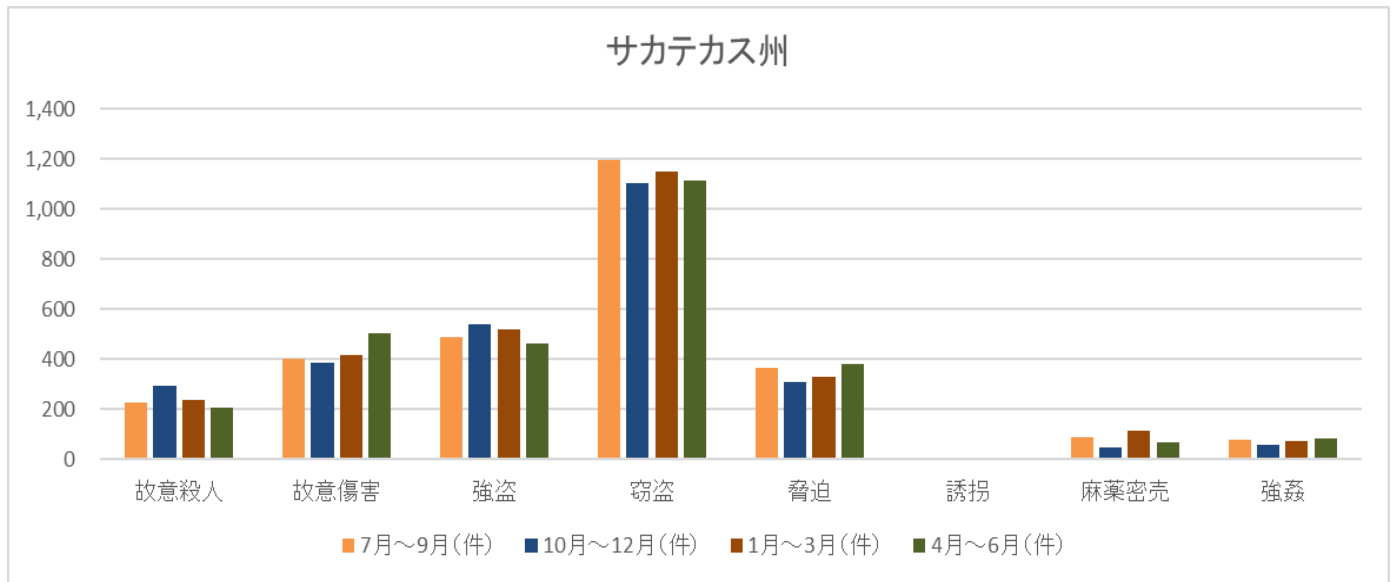
・人口約 1 6 2 万人 犯罪認知総数 (4 月～6 月) 7, 3 2 5 件

故意殺人の発生率 (人口の割合) は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害 (4 月～6 月) 0 件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7 月～9 月 (件)	10 月～12 月 (件)	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)
故意殺人	225	291	237	205
故意傷害	399	385	416	503
強盗	486	539	519	464
窃盗	1,198	1,105	1,147	1,114
脅迫	365	308	331	380
誘拐	1	1	3	1
麻薬密売	86	47	113	68
強姦	76	58	73	84



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Ministerio Publico）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上